

2017年10月12日

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社

日立ペイメントサービス株式会社

## インドで初めて紙幣還流式 ATM の稼働台数が 1 万台を突破

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社(代表取締役社長:下條 哲司/以下、日立オムロンターミナルソリューションズ)と Hitachi Payment Services Pvt. Ltd(以下、日立ペイメントサービス社)は、このたび、インド共和国(以下、インド)市場における ATM 提供ベンダーとして初めて、紙幣還流式 ATM の稼働台数が 1 万台を突破しました。日立の紙幣還流式 ATM は、これまでにインド市場において 40 以上の大手銀行、中小銀行およびその他金融機関に導入されています。この紙幣還流式 ATM は、市場に流通する紙幣量の削減を実現し、インドにおける高額紙幣の廃止政策に貢献しています。

現在、インドでは CD(Cash Dispenser)を含む約 25 万台の ATM が稼働しており、そのうち、紙幣還流式 ATM は 2 万台以上を占め、その約 50%が日立の紙幣還流式 ATM です。今後インド市場では、各銀行における従来型 ATM である CD から紙幣還流式 ATM へのリプレースやアップグレード需要により、紙幣還流式 ATM の市場は引き続き大きな成長が予測されています。

日立オムロンターミナルソリューションズの子会社である Hitachi Terminal Solutions India Private Limited(以下、日立ターミナルソリューションズ(インド)社)はベンガルールでインド向けの紙幣還流式 ATM を製造しており、インドにおける ATM 需要に対応するとともに、その生産活動により、雇用創出や経済発展など、インド政府が推進する政策「Make-In-India」に貢献しています。また、日立ターミナルソリューションズ(インド)社は製造した紙幣還流式 ATM を他のアジア国々に向けて展開することを計画しています。

日立オムロンターミナルソリューションズは、ATM 市場で 40 年以上にわたる実績と経験を有した紙幣還流式 ATM におけるグローバルリーディングカンパニーです。インド市場には、ATM の入金需要を捉えて 2010 年に紙幣還流式 ATM の販売を通じて本格参入し、2011 年にインド大手民間銀行に数百台を納入しました。2014 年には大手国営銀行にてインドでは初めてとなる ATM における紙幣の還流運用を実現しました。これまで日本やアジアを中心に、金融機関に大きな効率化をもたらす紙幣還流式 ATM の普及に努めており、これらの市場で培ってきた日立オムロンターミナルソリューションズの経験が、インドでも CD から紙幣還流式 ATM への移行に重要な役割を果たせるものと考えています。

日立ペイメントサービス社は、インドで約 65,000 台の ATM 運営を行うインド大手のペイメントサービスプロバイダーです。インド全域に販売・保守の幅広いネットワークを持っており、強固な顧客基盤を活用してインドにおける紙幣還流式 ATM のビジネスを拡大してきました。

日立オムロンターミナルソリューションズと日立ペイメントサービス社の両社は、今後も、インドの金融インフラの構築を通じて、インドの経済発展に貢献していきます。

#### ■日立オムロンターミナルソリューションズ 代表取締役社長 下條哲司のコメント

日立オムロンターミナルソリューションズは、日立ペイメントサービス社とともに、インド市場における紙幣還流式 ATM の 1 万台稼働達成を実現することができ、とても光栄に感じています。日立オムロンターミナルソリューションズは、インド市場において初めて紙幣還流式 ATM を導入し、インドの環境に適応した ATM を提供してきました。2015 年には稼働台数が 5 千台を超え、紙幣還流式 ATM のリーディングカンパニーとしての地位を確立しています。紙幣還流式 ATM とその高い技術が金融機関のお客さまに認められたことで、今回 1 万台を突破することができたものと思っています。今後もインドにおける金融インフラの構築を支援し、「Make-in-India」政策が推進する雇用創出や経済発展に貢献していきます。

#### ■日立ペイメントサービス社 Managing Director ロニー・アントニーのコメント

今回の稼働 1 万台達成に際して、多くの金融機関に対してインド国内の隅々に紙幣還流式 ATM を導入できたことを大変嬉しく思っています。私たちは紙幣還流式 ATM の開拓者として、店舗内だけでなく店外にも設置することで、金融機関における煩雑な紙幣の取り扱いや事業課題に対してソリューションを提供してきました。今後インド市場において紙幣還流式 ATM の需要は拡大すると予測されています。インドで稼働する ATM の約 25%は設置から 8 年以上経過しており、リプレース需要が見込まれています。紙幣還流式 ATM を導入することで、運用効率の向上やコスト削減、さらにはセールス機会の創出など、金融機関における自動化の実現に貢献できると考えています。

#### ■紙幣還流式 ATM について

金融機関においては、ATM の運用コストの中で、現金処理にかかるコストは大きな割合を占めています。紙幣還流式 ATM は、入金された紙幣を装置内部で還流し、出金用の紙幣として利用することができるものです。紙幣還流式 ATM を導入することによって、24 時間 365 日の稼働に加えて窓口業務や、現金の補充・取り扱いに関するコストの削減などの効果があります。また、店舗の売上金管理を必要とする小売業においても、紙幣還流式 ATM が導入され、紙幣の計数や仕分けなどの業務の自動化や、偽造紙幣の検知が可能な現金管理プロセスの合理化が図られています。

さらに、日立の紙幣還流式 ATM は、スマートフォンを用いたカードレス取引や生体認証などの機能を組み込むことも可能であり、インド政府が進める「Digital India」の推進に貢献しています。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-omron-ts/general/jp/form.jsp>

#### ■報道関係お問い合わせ先

日立オムロンターミナルソリューションズ株式会社 経営企画室 経営企画部 [担当:二木、大畑]  
〒141-8576 東京都品川区大崎一丁目 6 番 3 号 大崎ニューシティ 3 号館  
TEL:03-5719-6009(ダイヤルイン)

以上